

平成18年度全国女性委員会会議報告

- 期日 平成18年7月8日～9日
- 場所 箱崎、東京シティ・エアターミナル
- 参加者 池下真知子

[会議報告]

1日目

- 平成17年度活動報告及び平成18年度活動計画

- 報告：「2006世界女性スポーツ会議くまもと」

5月11日～14日まで熊本市で第4回世界女性スポーツ会議が開催された。94か国から700名の参加者が集い、熊本の700名のボランティアがそれを支えた。

- 報告：「女子新種目講習会・記録会を開催して」（香川県陸協 高岡令子）

熊本県女性部が中心となるレディース陸上開催を地域代表としてみた。本県でも何かしないとと思い、新種目の講習会や記録会の開催にとりくんだ。運営面・普及面でまだ課題はたくさんある。

- パネルディスカッション

「輝ける女性指導者とは」全国女子駅伝大会佐賀県チーム監督 下平香織

宮城・利府高等学校陸上部監督 今野美加代

埼玉・西中学校陸上競技部監督 浅賀一恵

(司会：羽田野明美 大分県女性理事)

- 地域別代表委員改選

- 地域別情報交換

2日目

- 講演「コーチングスキルアップ」

プロコーチ・ジャパン代表・ICFプロフェッショナル認定コーチ 山家正尚氏

- ・相手の優位感覚をやる
- ・今までの経験で『最高に感動した』何がみえていて、何が聞こえていて、どのような感覚があったか
- ・VAKについて（視覚・体感覚・嗅覚、味覚）

優位感があるだけで信頼関係ができやすい。イメトレの精度が高まる。